

ISUPEN 2023 (International Symposium on Upcoming Prominent ENgineering solutions 2023)

国立研究開発法人理化学研究所
公益社団法人精密工学会 国際交流担当理事
専任研究員 片平 和俊
(2022 年度 国際会議等準備及び開催助成 AF-2022245-V1)

キーワード：国際機関連携，若手研究者支援，ライブオンライン

1. 開催日時

2023 年 9 月 29 日 9:00～17:00

2. 開催場所

オンライン会議システムを利用したリアルタイム (LIVE) 形式

3. 国際会議報告

精密工学会が主催する国際シンポジウム ISUPEN 2023 (International Symposium on Upcoming Prominent ENgineering solutions 2023)を，2023 年 9 月 29 日にオンライン会議システムを利用したリアルタイム (LIVE) 形式で開催した。本シンポジウムの目的は，海外関連機関 (euspen, ASPE, KSPE, TSPE, CMES) 等^{*}との連携を強化し，本会さらには我が国のモノづくり産業のより一層の国際化を進めることである。

ISUPEN は，過去には 2011 年から 2015 年まで毎年開催され，精密加工技術および精密測定技術について有意義な情報交流を行ってきた。さらに 2021 年に開催したシンポジウムでは，引き続き工作機械の開発/生産/利用に関する技術に関して議論するのは勿論のこと，さらに対象分野を広げ，近年の広範で複雑な社会課題に対して有効な解決策を見出すために，精密工学分野の研究者・技術者が取り組んでいる革新的な研究開発事例を紹介頂くとともに，精密工学が目指すべき方向性についても議論した。

2023 年に開催した当シンポジウムにおいては，上述した目的に加え，ものづくり・未来の工場における DX 化を踏まえた工作機械，ロボット，搬送システム，情報通信技術の高度化に関する特別セッションを企画することで，次世代製造技術のグローバル最新動向について議論した。

関連機関の代表者数名 (euspen, ASPE, KSPE, TSPE らの Board member) を招待講演として招くとともに，新進気鋭の若手研究者による研究発表も企画した。さらに国際会議参加者，とくに大学院生を含む次世代を担う若手技術者に対して，国内外の専門家による研究発表に触れ交流する機会を提供することで早期に国際的な視野を与え，ものづくり産業の将来に渡る継続的な発展へと寄与することに努めた。

参加費無料とすることで，将来の精密工学を支える若手研究者／技術者（大学院生含む）の積極的参加を促すとともに，オンライン形式とすることで，地理的/時間的制約を取り払い，広く参加を呼び掛けた。貴財団のご支援の下でこの度開催した ISUPEN2023 では，245 名の参加登録があった。当日は 4 件のキーノートスピーチを含む 18 件の招待講演があり，活発な議論が交わされた。参加登録者の地域別人数および当日の講演の様子を以下に示す。

^{*}euspen: The European Society for Precision Engineering and Nanotechnology

ASPE: The American Society for Precision Engineering

KSPE: The Korean Society for Precision Engineering

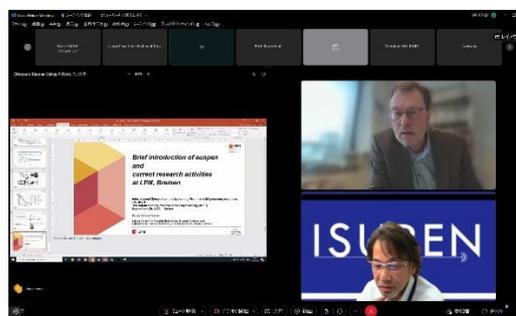
TSPE: Taiwan Society for Precision Engineering

CMES: Chinese Mechanical Engineering Society

表：参加登録者の地域別人数

| | | | | | |
|-------------|-----|----------|---|-------------|---|
| Japan | 179 | USA | 2 | UK | 1 |
| Taiwan | 19 | Thailand | 2 | Türkiye | 1 |
| China | 18 | Malaysia | 2 | Singapore | 1 |
| South Korea | 8 | German | 2 | Pakistan | 1 |
| India | 7 | Vietnam | 1 | Bangladeshi | 1 |

Total: 245 名



図： Dr.-Ing. Oltmann Riemer の Keynote 講演の様子

謝 辞

本シンポジウムの開催にあたり，公益財団法人天田財団より国際会議等準備及び開催助成を賜りました。多大なご支援に対し厚く御礼申し上げます。